

静大と静岡理工科大 協定 共同研究や単位互換 連携

協定書に調印した静岡大の日詰一幸学長（左）と静岡理工科大の木村雅和学長（右）静岡市駿河区の静岡大で



静岡大と静岡理工科大は3日、包括連携協定を結んだ。主に理系部門の共同研究や学生の単位互換などを進める。

静岡大は静岡市葵区の静岡キャンパスと、浜松市中区の浜松キャンパス、伊豆市にサテライトキャンパスがある。理工科大は、袋井

市のキャンパスに加え、来年4月に静岡駅前キャンパスを新設する。両大学は、各キャンパスの施設の共同利用や、地元企業や自治体と連携した地域貢献などを推進する。学生の知見を広げようと、単位互換に向けた制度の調整も始める。静岡大で同日、締結式があ

り、静岡大の日詰一幸学長は「県西部や中部だけでなく、東部まで視野を広げて県全域の発展に貢献したい」、理工科大の木村雅和学長は「教員間の研究だけでなく、教育内容の拡充、学生間交流の推進、地域連携活動の展開を進めたい」と話した。（鈴木弘人）